

令和7年度(2025年度)建築作品賞

50周年特別賞も設定

令和7年度の建築作品賞は、最優秀賞に「里山辺の家」設計「HAL設計室」、北斎館デジタルアートギャラリー「ガラリー」(設計「宮本忠長建築設計事務所」、川上村役場交流防災センター「設計「エーシーエー設計」の3点を選び、今回、協会創設50周年を記念した「50周年特別賞」には、3点の中から、「里山辺の家」を選んだ。

優秀賞には「税理士法人飯田会計社屋」設計「1級建築士事務所アトリエ・アースワーク」、南信州ハートクリニック「設計「小川原設計」、「Villa Yoshino」設計「倉橋建築計画事務所」、「箕輪町防災交流施設」1級建築士事務所「アーキディアック」の4点を選び、会長賞として、「漆の里やきさわらの家」設計「川島宏一郎建築設計事務所」の1点を選んだ。

今回の同賞は、令和4年(2022年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日までの間に新築または改築工事が竣工

した建築作品を対象に募集、16点の応募があった。5月9日に開催された選考委員会には土本俊和信州大学工学部教授を委員長に、伊藤公績会長と土屋正明、松村隆、渡邊徹の副会長3氏、吉田賢司常任理事の6人で審査を行った。

五つの視点で審査

審査にあたっては、「意匠・構造・機能上優れ、地球環境維持へ配慮がされていること」、「法令が遵守され、防災上、安全上、維持管理上配慮されていること」、「ユニバーサルデザインに十分配慮されていること」、「周辺地域の景観形成やまちづくりに配慮されていること」、その他、地域や時代の要請に応える新たな視点等について配慮されていること」の五つの視点を踏まえ、決定した。



飯田市 南信州ハートクリニック



地域密着型医療提供を目指す

敷地は飯田市上郷黒田の県道15号線張原交差点角地に接し、飯田市街を東に望む開けた場所にあり。計画は患者さん中心の診療をコンセプトとし、安心して診療を受けられるよう、視認性の高い平屋建てとしました。心臓病や循環器疾患のリハビリテーションを専門に行うための設備を設け、地域で唯一の下肢静脈瘤治療が可能なクリニックとして、地域の医療に貢献することを目指しております。

動線計画においては、待合・診療動線、発熱外来動線、処置・検査・手術・スタッフ動線をクリニックスタッフ全員から意見を集約し配置しました。限られ敷地での計画は、コンパクトに納まる中廊下型プランを採用、ハイサイドライトにより自然光を導入する空間構成とし、医療施設と感じさせない居心地の良い開放感をもたらしています。内装は地元自然素材をできる限り使用し、患者さん中心の地域密着型クリニックを追求しました。ハイブリット高気密高断熱(外断熱+充填断熱)を設け、ハイスペックな省エネルギー建築性能を実現しています。



建設地:飯田市上郷黒田779-1
構造規模:木造1階建て、延べ335.57㎡
竣工:2023年12月

設計 **OGAWARA SEKKEI**
ARCHITECTS & ENGINEERS
株式会社 小川原設計 代表取締役 小川原 吉宏
安曇野市豊科4235-8 TEL0263-72-4683

施工 **株式会社 林枝木店**
松川町元大島1660 TEL0265-36-3151



箕輪町 箕輪町防災交流施設「みのわBASE」



近年、2011年の東日本大震災や2024年の能登半島地震など、各地で様々な災害が起こっており、社会で防災への関心が高まっている。

箕輪町防災交流施設は、災害時も平時と同様に建物を使える様、LPG非常発電設備や太陽光発電・蓄電池設備、雑排水を利用できる受水槽を整備し、100人程度の避難者が3日間生活できる防災拠点施設とした。主出入口前には大きなキャノピーを設けイベント等で利用し、駅・教育施設等の通行がある北側道路に面して、出入口・カフェコーナーを配し、寄り付きやすくした。1階は、木をふんだんに使って温かみのある開放的な空間とし、子供から高齢者まで多世代が集い、誰もが気軽に利用できる居場所とした。外壁の透透性を高め地域に開くことで、日常利用が施設の使いこなしや町民の協力関係を育み、災害時の備えに自然と繋がる。2階は、1階に比べ静かな環境を確保し、学習・仕事をするのに最適な場所とした。2階北東側の壁面をセットバックさせ、隣地への日照確保と圧迫感を低減し、勾配屋根とすることで親しみやすい外観とした。外皮を高断熱化し、エネルギー消費量を減らし、災害時にも少ないエネルギーでの運用を可能とした。また、持続可能な建築の指標となるNearlyZEBを実現している。



建設地:箕輪町大字中箕輪9503、9499-4、9502-1
施設規模:5造2階建て、延べ1085.92㎡
竣工日:2024年3月

設計 **株式会社 アーキディアック**
Architects & Associates, Inc. 一級建築士事務所 建築 都市 環境 情報
代表取締役 児野 哲郎
松本市島立1132-35 TEL0263-47-7766

施工 **浅川建設工業株式会社**
代表取締役社長 浅川 孝二
上伊那郡箕輪町中箕輪11363-1 TEL0265-79-2218

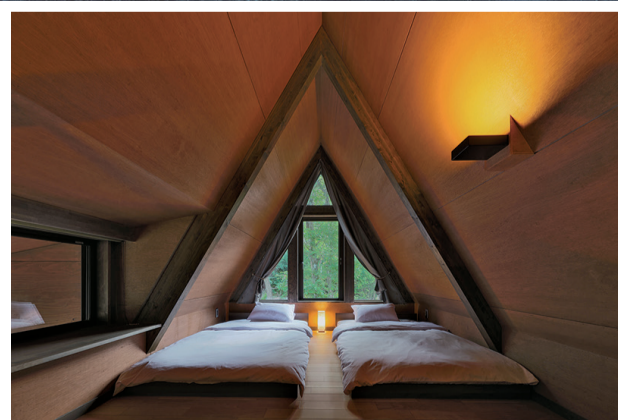


安曇野市 Villa Yoshino



Villa Yoshinoは北アルプス山麓の森に建つ貸別荘。

「森の自然をダイレクトに感じる空間・シンプルに過ごせる居場所」そして「一目見ただけで誰もが行ってみたいくなる場所」づくりを目指した。森の景観を生かすため、各棟間のプライバシーを確保しながら樹木伐採を最小限として建物を配置。森の中の集落のような風景作りを意識した。「シンプルに屋根だけで空間をつくる」ため、米松集成材の正三角形フレームを1.8mピッチで5スパン並べて母屋と構造用合板で一体化。内部を一室空間とした。森に佇む三角屋根は、存在感と解放感がありながら包み込まれる安心感の感じられる居心地の良い空間となっている。三角屋根の下はリビング、小さなキッチン、寝室となるロフト、中房温泉からの源泉かけ流しの浴室をコンパクトにまとめ、テラスにはBBQピットを造り付けた。家族4人がちょうどよく快適に過ごせるサイズを基本としながら、遊び心溢れる全3タイプを用意して週末住宅、ワーケーションやグループ利用等様々なニーズに対応。リピートしたくなる空間づくりを意図した。三角屋根のVilla Yoshinoは、シンプルな形状故に構造強度が高く断熱性能・遮音性能・メンテナンス性に優れる等、合理的・機能的で環境負荷の少ない建物となっている。森の中のVilla Yoshinoで過ごす時間が、新たなライフスタイルを見つけるきっかけになれば望外の喜びである。



建設地:安曇野市穂高有明8969番1
施設規模:木造2階建て、286.76㎡(計5棟合計)
竣工日:2022年4月

設計・監理 **株式会社 倉橋建築計画事務所**
代表取締役 小宮山 吉登
松本市野溝木工1-1-30 TEL0263-26-6765

施工 **原田建築工房**
Harada Construction Atelier Corp.
代表取締役 原田 静雄
安曇野市明科中川手4181 TEL0263-62-6621

